

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ケーヨー							
代表者名	氏名	醍醐 茂夫	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	千葉県千葉市若葉区みつわ台一丁目28番1号							
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業						
	中分類	56 各種商品小売業						
主たる事業の概要	ホームセンター業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2312	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	27	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

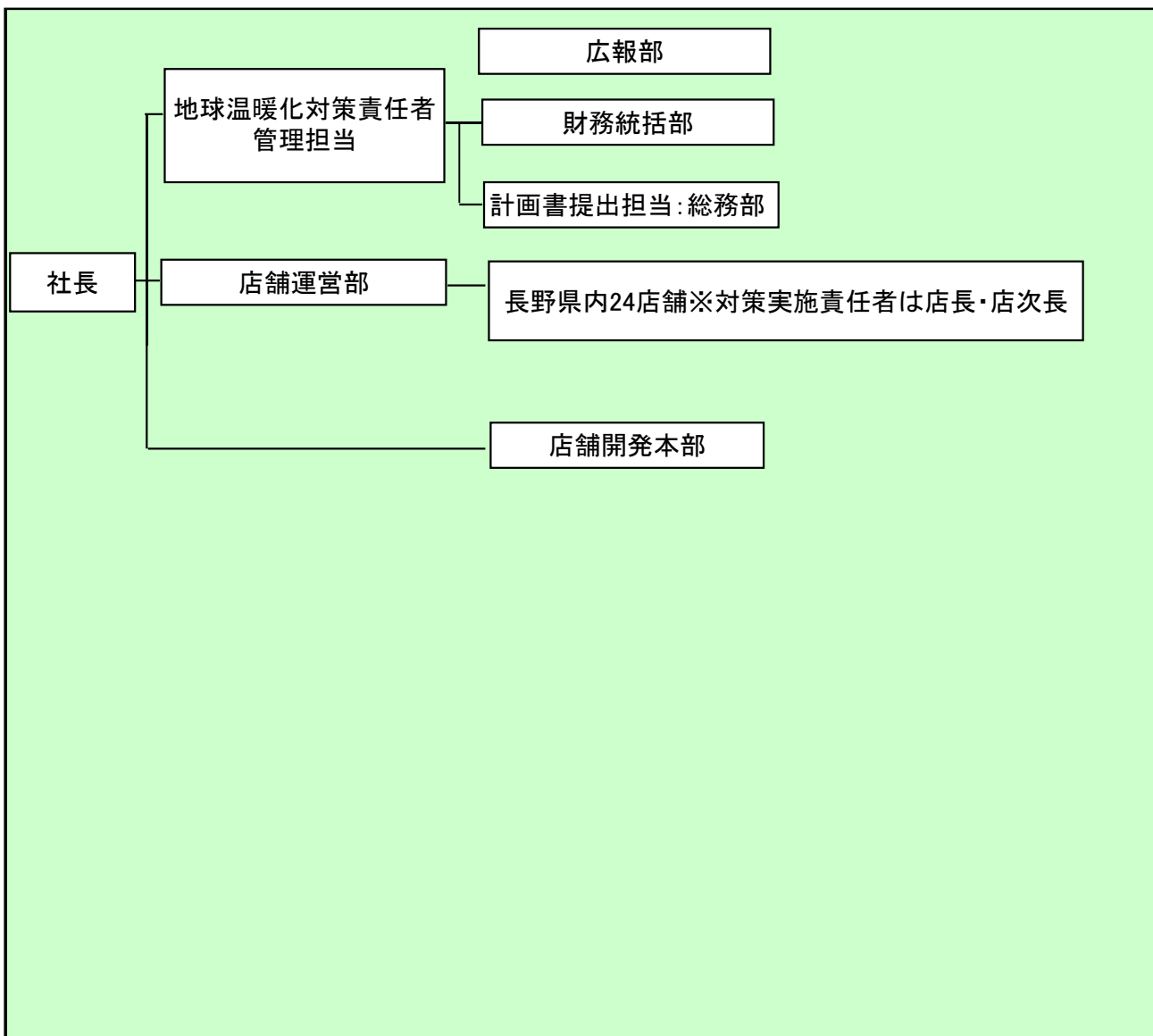
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧場所：株式会社ケーヨー 担当部署：総務部 所在地：千葉市若葉区みつわ台一丁目28番1号 閲覧時間：9時30分～18時
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 当社が以前から取り組んできた「ローコスト経営」をテーマに以下の内容を基本方針として実施する。
  - 1) エネルギーのムダな使用を減らし、温室効果ガスの削減を図る。
  - 2) 空調の設定温度の表示や時間帯（出社時・開店時・営業中・閉店時）に応じて店内の照明を点灯させる場所を決めて使用し、エネルギーのムダな使用を減らし、温室効果ガスの削減を図る。
  - 3) 店舗に設置している機器の状況（老朽化、非効率等）にあわせて、高効率の新機器導入の検討および実施によりエネルギーのロスを減らすことで温室効果ガスの削減を図る。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,989	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	1,159	単位	千㎡	
25年度	調整後排出量	3,940	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	4.30	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	
目標年度	目標排出量	4,839	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	4.17	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.02	%		
目標設定に関する説明	<p>1) エネルギーのムダな使用を減らし、温室効果ガスの削減を図る。 2) 空調の設定温度の表示や時間帯(出社時・開店時・営業中・閉店時)に応じて店内の照明を点灯させる場所を決めて使用し、エネルギーのムダな使用を減らし、温室効果ガスの削減を図る。</p>							※事業の内容により単一の前年度を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,413	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	1,159.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	4,388	t-CO <sub>2</sub>	原単位	3.81	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	11.54	%	削減率	11.39	%		
排出量等の増減理由	<p>1) クールビズ・ウォームビズを励行し、空調の設定温度(冷房28℃、暖房20℃)の徹底を行った。 2) 店内照明の店頭箇所を決めて使用することで、電気使用量の削減を図った。</p>							
第二年度	排出量	4,718	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	1,159.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	4,697	t-CO <sub>2</sub>	原単位	4.07	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	5.43	%	削減率	5.34	%		
排出量等の増減理由	<p>前年度の電気使用量の大幅削減は、空調の設定温度(冷房28℃、暖房20℃)の徹底だが、温度設定を(冷房28℃、暖房20℃)としたため、実際の店舗温度は夏場は28℃以上、冬場は20℃以下となりました。 お客様にご迷惑をお掛けするため、室温が夏場は28℃以下、冬場は20℃以上となるよう設定温度の調節をしたため前年より使用量が増加しました。</p>							
第三年度	排出量	4,854	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	1,136.99	単位	千㎡	
	調整後排出量	6,745	t-CO <sub>2</sub>	原単位	4.27	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	2.70	%	削減率	0.69	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>前年度より空調の温度設定を室温が(冷房28℃以下、暖房18℃以上)となるよう調節をしました。前年以上に夏場は気温の上昇、冬場は気温の低下があり、空調によるガス使用量が大幅に増加しました。また、商品である店内植物に関して、劣化対策で夜間空調による温度管理をしたことも増加の要因と考えられます。</p>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明	自動車の使用に伴うCO <sub>2</sub> は、6の1に盛り込んでいます。					
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	11201定期的な点検、清掃の実施	26~28	10	26~28	50
2	エネ起	130101設定温度の変更	26~28	20	26・28	300
3	エネ起	150204不要時間帯および場所の消灯	26~28	20	26~28	195
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1049		25	21	-1891
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	23	4,989	24	4,413	24	4,718	24	4,854
合計	23	4,989	24	4,413	24	4,718	24	4,854

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	27	27	27	27
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	特になし
第三年度実績	特になし

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	長野県内全店LED化	497
その他		